



# いばらき県議会だより

茨城県議会

検索

<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>



※ホームページでは本会議および予算特別委員会を生中継および録画中継しています

音声版「声の県議会だより」および「点字版県議会だより」も作成しています

「いばキラTV」<https://www.ibakira.tv/> 本会議および予算特別委員会を生中継しています

「県議会公式Twitter」<https://twitter.com/ibarakikengikai> もぜひご覧ください

発行:茨城県議会 編集:県議会情報委員会

〒310-8555 水戸市笠原町978番6

Tel.029-301-5646 [年4回発行]

No.224

## 6月17日(土)に「休日議会～縁joyツアー～」を開催しました!



茨城県警察音楽隊コンサート



「バックヤードツアー」で本会議場を見学!



傍聴者などに向けて初めて託児サービスを実施!

### 6つの常任委員会で県民の皆さまと意見交換



総務企画委員会



防災環境産業委員会



保健福祉医療委員会



営業戦略農林水産委員会



土木企業立地推進委員会



文教警察委員会



石井 邦一 議長

県民の皆さまに県議会を身近で親しみやすく感じていただき、議会活動への理解と参画を推進するため、6月17日(土)に「休日議会～縁joyツアー～」を開催し、県内全域から212名の方にご参加いただきました。3度目となる今回の休日議会では、6つの常任委員会においてさまざまな分野の県民の皆さまと直接対話による意見交換を行いました。

また、県警察音楽隊による議事堂内でのコンサートや、普段なかなか見ることのできない議事堂バックヤードツアーも実施し、大変好評をいただきました。

今後も、県民の皆さまの県議会活動への理解と関心を広げ、「未来に誇れる持続可能な茨城づくり」の実現に向け、県民の皆さまとの絆を大切に、期待に応える行動力のある県議会づくりに取り組んでまいります。

### 第2回定例会の概要

令和5年第2回定例会は、6月7日から6月22日まで16日間の会期で開かれました。

議案は、議員などから、梅雨前線による大雨及び台風第2号に伴う災害に係る支援を求める意見書など、知事から、令和5年度茨城県一般会計補正予算、職員の旅費及び費用弁償に関する条例及び特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例などが提出されました。

一般質問は、酪農の危機に対する支援策、再生資源物の規制に関する条例整備、那珂西部工業団地等の公共工業団地の売却などの項目について行われました。(2～3面)

各常任委員会では、付託議案の審査、その他所管事務に関する質問を行い、大雨災害に係る迅速な補正予算の要求、令和元年東日本台風と今回の災害での支援の違い、取手市大雨災害での災害ボランティアの対応と反省などについて議論されました。(4面)

予算特別委員会では、イノシシ被害対策、AI茨ひより<sup>※1</sup>の観光振興などへの活用、教員の時間外勤務の改善と給特法<sup>※2</sup>の見直しなどについて質疑が行われました。(5面)

誰もが輝く持続可能な茨城を担う人づくり調査特別委員会では、有識者から意見を伺うとともに、県執行部から「安心して子どもを育てられる社会づくり」や「誰もが教育を受けることができる社会づくり」などについて聴取し、活発な議論が行われました。

(8面) 今回の定例会では、予算、条例、人事、報告、意見書など22件の議案が可決、同意、承認されました。

※1【AI茨ひより】…県公認Vtuber茨ひよりに、対話生成AI「ChatGPT」などを連携することで、自然な音声対話を可能にしたもの。  
※2【給特法】…公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法の略称。

### 第2回定例会の主な日程

令和5年第2回定例会は、左記の会期日程で開催されました。

6月7日(水)	本会	議	(開会、知事提出議案説明)
6月12日(月)	本会	議	
13日(火)	本会	議	
14日(水)	本会	議	(一般質問・質疑)
6月16日(金)	常任委員会	議	
17日(土)	本会	議	
6月19日(月)	本会	議	
6月20日(火)	本会	議	(予算関係議案常任委員長報告等)
6月21日(水)	本会	議	(予算特別委員会)
6月22日(木)	本会	議	(委員長報告、採決、閉会)

### 一般質問(要旨)

#### ●質問者

6月12日(月)	長谷川 重幸 議員 いばらき自民党 茨城を担う人づくり調査特別委員会
6月13日(火)	沼田 和利 議員 いばらき自民党 小泉 周司 議員 いばらき自民党
6月14日(水)	飯田 智男 議員 いばらき自民党
6月14日(水)	大足 光司 議員 国民民主党 坂本 隆司 議員 いばらき自民党
6月14日(水)	瀬谷 幸伸 議員 いばらき自民党
6月14日(水)	村田 康成 議員 いばらき自民党
6月14日(水)	山本 美和 議員 公明党

こちらから録画映像でご覧になれます。▶  
[https://ibaraki-pref.stream.jfit.co.jp/?tpl=gikai\\_result&gikai\\_id=163](https://ibaraki-pref.stream.jfit.co.jp/?tpl=gikai_result&gikai_id=163)

#### 再生資源物の規制に関する条例整備

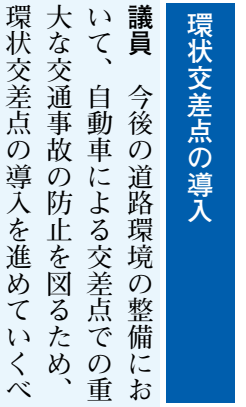


沼田 和利 議員  
いばらき自民党  
牛久市選出

議員 ヤード<sup>※2</sup>での再生資源物の保管方法などに規制が及んでいないことから、崩落などの危険性に対し手を打つため、再生資源物の規制に関する独自の条例制定などの整備が必要と考えるが、所見は。

県民生活環境部長 他の自治体の規制強化により、悪質な事業者が規制の緩い地域に移転する動きも想定されるため、法制化を国に要望するとともに、再生資源物の屋外保管について、条例化による規制強化に取り組んでいく。

#### 環境交差点の導入



議員 今後の道路環境の整備において、自動車による交差点での重大な交通事故の防止を図るため、環状交差点の導入を進めていくべきと考えるが、所見は。

警察本部長 環状交差点の導入が交差点の安全と円滑を図るために最適であると判断される場合には、積極的な導入を道路管理者に促すとともに、環状交差点の交通規制を適切に実施していく。

(ほかに、ケアラ・ヤングケアラーへの支援、保健所の体制整備なども質問)

#### 地域の魅力を活かした国際会議等の誘致

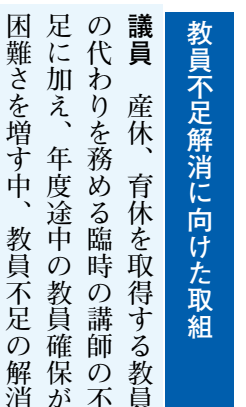


山本 美和 議員  
公明党  
つくば市選出

議員 つくばなどの地域の魅力を活かし、他の地域と差別化した上で、本県の魅力を世界に向けて発信する絶好の機会となる国際会議などの誘致に県全体で取り組む必要があると考えるが、所見は。

営業戦略部長 学術系機関や海外旅行会社などに対し、豊かな自然環境や食など本県の強みを提案すること、MICE<sup>※3</sup>の開催場所としての魅力をアピールするとともに、開催効果が県内全域に広がるよう営業活動を展開していく。

#### 教員不足解消に向けた取組



議員 産休、育休を取得する教員の代わりを務める臨時の講師の不足に加え、年度途中の教員確保が困難さを増す中、教員不足の解消にどのように取り組んでいくのか。

教育長 本年7月までに産休、育休を取得する予定の教員がいる学校には年度当初から教員を加配措置したほか、講師志願者に対し直接登録を呼び掛ける機会を増やし、教員不足の解消を図っていく。

(ほかに、茨城の生物多様性戦略の見直し、こどもの貧困対策なども質問)

#### 酪農の危機に対する支援策



長谷川 重幸 議員  
いばらき自民党  
鉾田市・茨城町・大洗町選出

議員 飼料価格の高騰などにより、多くの酪農家が赤字経営となり、酪農が加速しているが、支援策は。農林水産部長 価格高騰の影響が大きい乾牧草のコスト上昇分の一部を支援するほか、国産飼料の利用率を増やす場合には支援額を上乗せする。また、食品残さの活用、自給飼料の生産拡大に必要な機械の導入、飼料作付面積の拡大などを支援する。これらの支援により、飼料価格高騰の影響を受けない事業構造への転換を図る。

#### 中小企業等のコスト上昇に対する価格転嫁の環境づくり

議員 中小企業における原材料などの生産コスト上昇分の価格転嫁が十分に進んでいない。適正な価格転嫁の実現を後押しする対策は。

産業戦略部長 県内の経済団体などに価格転嫁の円滑化を要請するなどの受講を推奨するほか、価格交渉ツールの公表・活用推進により価格交渉力の向上を図る。

(ほかに、茨城農業の将来ビジョン、農業・林業分野におけるJ-クレジット<sup>※1</sup>の取組なども質問)



乳牛の餌となる牧草の収穫風景

#### 那珂西部工業団地等の公共工業団地の売却



小泉 周司 議員  
いばらき自民党  
那珂市選出

議員 那珂西部工業団地における未分譲画地の早期完売の見通しと今後の県の公共工業団地の売却にどのように取り組むのか。

立地推進部長 さまざまな方法による誘致活動の結果、当団地へこれまで以上に興味関心を高めている企業からの引き合いもあり、那珂市と連携し、これを売却に結び付け、当団地の完売を目指す。引き続き、戦略的な誘致活動により本県の公共工業団地の未分譲画地の早期売却に取り組む。

#### 県植物園のリニューアル

議員 県植物園のリニューアルに当たっては、地元と連携を図りながら、魅力ある施設にしてもらいたい。今後、どう進めるのか。

知事 民間資本を活用したりリニューアルに向け、コンセプトや実施主体などの検討を進める。県民の森と統一的なコンセプトで一体的に整備し、観光拠点への転換を目指す。那珂IC周辺で整備予定の道の駅との相乗効果も期待している。

(ほかに、水郡線の活性化、本県が有する歴史的資源の保存と活用なども質問)



県植物園の外観

#### 鹿島臨海工業地帯の今後の展望とカーボンニュートラル産業の創出に向けた取組



村田 康成 議員  
いばらき自民党  
神栖市選出

議員 今後、カーボンニュートラル産業の創出をどのように目指すのか。また、鹿島臨海工業地帯の今後の目指すべきビジョンをどのように考えるのか。

知事 200億円基金などを活用し、民間企業の大規模投資の呼び込みなどに全力で取り組む。鹿島臨海工業地帯については、産業集積を生かし、新エネルギーのサプライチェーン構築やコンビナートのエネルギー構造転換など、高い競争力を持つ拠点創出に取り組む。

#### 県立鹿島特別支援学校の課題

議員 鹿島特別支援学校の課題として、特に通学時間の長さは深刻である。県はこのような課題をどう捉え、また、課題解消の可能性をどのように考えるのか。

教育長 神栖市内から鹿島特別支援学校に通う児童生徒の負担軽減策は重要な課題と認識している。新たな施設の建設や、神栖市の有する既存施設の活用なども、検討の土俵から除外することなく、市と連携を図り取り組んでいく。

(ほかに、県と鹿行地域の医療における課題と方針、波崎漁港の整備促進と水産加工業者の安定した経営なども質問)



鹿島臨海工業地帯

※2【ヤード】…有価で取引される鉄スクラップなどの再生資源物を屋外に保管する施設のこと。  
 ※3【MICE】…企業などの会議(Meeting)、企業などの行う報奨・研修旅行(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会などが行う国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)の総称。

# 一般質問(要旨)



議員 瀬谷 幸伸  
いばらき自民党  
日立市選出

## 県北振興の成果と課題

議員 県北振興に関して、県はさまざまな取り組みを行っているが、どのような未来像を描いているのか。その思いや目標は。

知事 県北地域の特性を生かした、産業、農林業、観光により他地域との差別化を図っていく。日立市などの地域では日立製作所だけに頼らない強い製造業を育成するとともに、山間地域では収益性の高い農業を推進する。このほか、豊かな自然を生かした県北独自の観光地のブランド化に取り組む。



議員 大足 光司  
国民民主党  
高萩市・北茨城市選出

## 茨城県北ロングトレイルの来訪者の増加に向けた取組

議員 県北ロングトレイルの来訪者の増加に向けては、丁寧な情報発信や、ガイドなどの人材育成が重要と考えるが、所見は。

知事 豊かな自然環境を活用して交流人口の拡大を目指す県北ロングトレイルは、県北地域振興の重要な施策の一つである。そのため魅力的な地域資源や宿泊施設を明示したマップの作成・配布や、SNSを活用したPR、体験イベントを活用したガイドの育成などに取り組んでいる。

## 県北地域における中小企業の人材確保

議員 県には、新卒者および中途採用による人材確保対策に積極的に取り組んでほしいが、所見は。

産業戦略部長 面接会の開催や県独自のインターシップ制度により、新卒者の確保に努める。また、転職や副業などのさまざまな形態による県内企業とのマッチングの支援により、首都圏の企業でキャリアを積んだ人材の確保に取り組む。

(ほかに、日立市内における渋滞解消に向けた道路整備、医療機関に対する補助事業の周知と課題の把握なども質問)



茨城県北ロングトレイルコースの御岩山(日立市)

## デスティネーションキャンペーンを契機とした県北の観光振興

議員 観光客を呼び込む機運醸成のほか、アウトドアのポテンシャルが高い県北地域が注目を浴びよう努めるべきだが、所見は。

営業戦略部長 成功事例やノウハウの共有により市町村のスキルアップを支援し、地域が主体となりコンテンツを生み出せるよう取り組む。また、高萩市では海岸での車中泊体験などが予定されており、こうした試みをサポートしていく。

(ほかに、県北地区の津波や高潮等への対策と進捗状況、高萩市の緊急輸送道路の整備状況なども質問)



海岸での車中泊体験(高萩市)



議員 坂本 隆司  
いばらき自民党  
龍ヶ崎市・利根町選出

## 県南地域における常磐線沿線地域の発展と支援

議員 常磐線沿線の県南地域は都心への通勤圏であるなど立地条件に恵まれ、定住人口の増加や企業の本社機能の移転などに期待できる地域だと考えるが、当該地域の発展と支援に、どう取り組むのか。

知事 鉄道や道路などの広域交通ネットワークの整備や企業誘致、本社機能移転に取り組んでいる。引き続き、沿線自治体と連携し、東京圏との近接性や交通ネットワークの利便性を活かした発展に全力で取り組んでいく。

## 信号機のない横断歩道の安全対策

議員 本県の信号機のない横断歩道での車両の停止率が全国ワースト8位であり、「ぴかっとわたるくん※1」の設置など、安全対策が急務であると考えますが、所見は。

警察本部長 夜光反射材の普及や横断歩行者妨害の取り締まりを強化し成果が現れつつある。また、「ぴかっとわたるくん」などの設置なども市町村などと連携しつつ取り組みの検証を実施しながら進めていく。

(ほかに、ごみ処理施設の広域圏での整備に向けた県の役割、部活動の地域移行なども質問)



常磐線沿線地域の発展を



議員 飯田 智男  
いばらき自民党  
常総市・八千代町選出

## 県立高校スクールバスにおける費用負担の軽減

議員 スクールバスにかかるお金の問題を理由に、行きたい県立高校を諦めてしまう可能性があるとしたら、子どもたちにとって不幸でしかない。スクールバス費用負担の軽減について、所見は。

教育長 運行経費の削減方法や利用者拡大に向けた取り組みなど、さまざまな情報を学校や保護者に提供することで、運賃の改善に積極的に関わっていく。スクールバスへの公費負担については、公平性の観点から慎重に検討していく。

## ゴルフツーリズムの推進

議員 官民を挙げて、ゴルフツーリズムを軸とした観光戦略に力を入れていただきたい。本県のゴルフツーリズムの推進について、どう取り組みを強化していくのか。

営業戦略部長 韓国の若者層や台湾・オーストラリアの富裕層など新たな需要開拓に積極的に取り組む。また、ゴルフ場におけるインバウンド客の受け入れ促進や関係者間の協力体制の強化に努める。

(ほかに、カーボンニュートラルの実現、コロナ対応の総括と今後の感染症対策なども質問)



本年3月に宮崎県で開催された「AGTC※2」の様子

## 今定例会で可決された議案

### 議員など提出

◆条例の一部改正  
茨城県議会の議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

### 意見書

○生涯を通じた国民皆歯科健診の実現を求める意見書  
○高病原性鳥インフルエンザ等防疫措置に係る財源支援を求める意見書

○梅雨前線による大雨及び台風第2号に伴う災害に係る支援を求める意見書

### 知事提出

◆令和5年度補正予算関係  
○一般会計補正予算(2件)

◆条例の一部改正  
○職員の旅費及び費用弁償に関する条例及び特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

○職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例

◆その他  
○工事請負契約の締結について(県立あすなろの郷サーバーティネット本棟新築工事) ほか6件

◆人事  
○教育委員会委員の任命について

○収用委員会委員の任命について

◆報告  
○地方自治法第179条第1項の規定に基づく専決処分について

※意見書の全文は議会ホームページでご覧になれます。  
[https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/kyougi/kyougi202307\\_pdf/ikensyo.htm](https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/kyougi/kyougi202307_pdf/ikensyo.htm)



## 議会運営委員会において、議会運営上の諸課題について議長に答申を行いました

議員提出発議案(政策条例)について、原則、委員会に付託して、審査することなど、議長から諮問のあった議会運営上の諸課題について、議長に答申を行いました。

議長からは、できるものから速やかに実施し、答申の実現に向けて、引き続き協力してほしいとの発言がありました。

### 答申内容

I 議員提出発議案の委員会付託等のあり方

II 議案に対する質疑等のあり方

III タブレット導入に係る費用対効果等の検証及び今後の更なる活用方策

IV 県民に分かりやすい・参加しやすい県議会の環境づくり

※答申の全文は議会ホームページでご覧になれます。  
<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/report/gun230622.pdf>



石井邦一議長(中央左側)に答申書を手渡す鈴木将委員長(中央右側)

ことば ※1 【ぴかっとわたるくん】…歩行者がボタンを押すとLEDが点滅し、横断歩行者の存在を示す装置のこと。  
※2 【AGTC】…アジア最大のゴルフ商談会である「アジアゴルフツーリズムコンベンション」のこと。

# 常任委員会の審査から

## 総務企画委員会

**大雨災害に係る迅速な補正予算の要求について所見は被災者支援のためスピード感をもって調整した**

**問** 6月2日からの大雨による災害発生後、迅速に補正予算の要求が行われたことに大変感心しているが、所見は。  
**答** 被災された方々を速やかに支援するため、法律に基づく支援など、スピード感を持って予算の調整を行い、大雨被害に関する補正予算を提案できたと考える。



石井邦一議長と中村修取手市長の被災地視察の様子(取手市)

業務への生成AIの活用については、安全な環境を構築した上で実証実験を行い、活用方策やリスクを検証する。(ほかに、鹿島セントラルホテル売却に係る経緯、わくわく茨城生活支援事業の過疎地域に対する加算なども質問)

## 営業戦略農林水産委員会

**茨城農業の将来を見据えた新規就農者の育成策は茨城農業アカデミーを通じて経営発展に取り組める人材を育成する**

**問** 「茨城農業の将来ビジョン」の背景として、将来的に担い手確保が困難になる可能性を挙げているが、新規就農者の現状と育成策は。  
**答** 新規就農者数は年間300人程度で推移している。茨城農業アカデミーでは、経営や技術に関する講座を開催しており、学んだ人が高収益作物の導入など付加価値の高い農業へ転換し、経営を発展させていけるよう支援する。



経営者マインドを醸成するヤングファーマーズ・ミーティング

人旅行の誘客に取り組み。茨城空港については、チャーター便から定期便につなげられるよう誘致していく。(ほかに、令和5年梅雨前線・台風2号に係る被害対応、伊師浜国民保養地への民間活力導入の進捗なども質問)

## 防災環境産業委員会

**令和元年東日本台風と今回の災害での支援の違いは規模の違いはあるが、同様の支援を行う**

**問** 令和元年東日本台風と今回の災害での支援の違いと今後の課題は。  
**答** 令和元年東日本台風の時と今回の補正予算の事業は、規模の違いはあるが、同様の支援を行う。また、被災者生活再建支援法の対象とならない方に、県の単独事業として支援を行っているが、法律の中で対応できるように国に対して要望を行っている。



令和5年梅雨前線による大雨被害の状況(取手市)

は、1回当たりの相談時間を1時間に設定しており、担当者制により、求職者にきめ細かな対応を行っている。(ほかに、いばらき原子力防災アプリの発信内容、新産業廃棄物処分場の進捗状況なども質問)

## 土木企業立地推進委員会

**豪雨災害への今後の対応は本格復旧を進め、迅速な情報共有体制づくりを行う**

**問** 令和5年梅雨前線による大雨および台風第2号に伴う被害への今後の対応は。  
**答** 被害があった河川や道路については既に応急復旧が完了しており、今後、早期の本格復旧を進める。取手市双葉地区では、浸水対策について支援していくとともに、牛久沼では、国や市町村と緊密に連携し、迅速に情報共有できる体制づくりを進めていく。



つくば霞ヶ浦りんりんロード

距離に路面標示を設置していく。県管理区間は今年度の完成を目標に進め、引き続き、市町村管理区間は管理者に早期整備を要請していく。(ほかに、水道水の有機フッ素化合物の安全性、撤退企業との状況と対応策なども質問)

## 保健福祉医療委員会

**取手市大雨災害での災害ボランティアの対応と反省は課題を検証し、主導的に関わっていく**

**問** 取手市大雨災害における災害ボランティアの対応は。また、対応を振り返り、市町村に対して県が主導的役割を担うべきと考えるが、所見は。  
**答** 6月4日から災害初期期対応チームを現地に派遣し、災害ボランティアセンターの設置・運営を支援した。現地に1日でも早くボランティアの力を届けるため、課題を検証し、主導的に関わっていく。



災害ボランティアセンターでの受付の様子

問 コロナが5類感染症に移行したが、心配されていた受診控えの状況は。  
**答** 初診料などの患者自己負担は、5類移行前から生じていたことと、コロナ治療薬の

## 文教警察委員会

**巡回連絡を活用した高齢者総合安全対策の今後は継続的に実施していく**

**問** 巡回連絡を活用した高齢者総合安全対策を実施することによって、警察官と住民との交流がより一層図られ、さまざまな効果が期待できるが、来年度の実施予定は。  
**答** 継続的に実施していく。巡回連絡を通じて、警察官と住民との信頼関係を築き、二セ電話詐欺防止対策などの取り組みを推進していく。



巡回連絡で住民と話を警察官

問 部活動運営方針の特例措置<sup>※3</sup>では、生徒・保護者・指導者の同意が条件となっており、ハードルが高いと感じるが、どのように合意形成を図っていくのか。  
**答** 学校において、管理職と顧問が部活動運営方針を生徒・保護者に丁寧に説明し、安全に行える活動計画や体制を十分に協議しながら、理解を得られるよう指導していく。(ほかに、横断歩道の交通安全教育、英語以外の授業での英会話活用なども質問)

ことば ※2【いばらき就職支援センター】…茨城県が運営する無料職業紹介所のことで、専門の相談員が、就職相談や職業紹介などの就職支援サービスをワンストップで提供している。  
※3【部活動運営方針の特例措置】…科学的な指導体制が確立しており、生徒・保護者・指導者が方針を超えて活動することを同意、校長が承認した計画を県の審査により、特例的に許可する。

# 予算特別委員会

## ●質疑者

6月20日(火)



こちらから録画映像をご覧いただけます。

- 金子 晃久 (いばらき自民党)
- 村本 修司 (公明党)
- 江尻 加那 (日本共産党)
- 秋 嘉一 (無所属)
- 高橋 直子 (いばらき自民党)
- 二川 英俊 (国民民主党)
- 水柿 一俊 (いばらき自民党)

[https://ibaraki-pref.stream.jfit.co.jp/?tpl=gikai\\_result&gikai\\_id=163](https://ibaraki-pref.stream.jfit.co.jp/?tpl=gikai_result&gikai_id=163)

(ほかに、新産業廃棄物最終処分場の整備、いじめの傍観者に焦点を当てた取組なども質疑)

**江尻加那委員 (共産)** 教職調整額※1の予算に対し、実際の時間外勤務に合わせた残業代を支払う場合の試算額は、また、給特法見直しに対する所見は、**教育長** 教職調整額の今年度予算は、全教員分で概算48億円、教員一人当たりは約22万円となる。昨年の小学校10月、11月の時間外勤務の平均を基礎に試算すると、全教員分が概算209億円、教員一人当たりは約97万円となる。教職調整額を含めた教師の処遇改善については、国の中央教育審議会における今後の積極的な検討を期待する。

(ほかに、健康保険証とマイナンバーカードを一体化する課題なども質疑)

**秋嘉一委員 (無所属)** 鹿島港における物流機能の強化に向けて、潮来インターチェンジから鹿嶋・神栖方面への道路の渋滞緩和やコンテナ荷揚げ用のガントリークレーンの増設などの検討が必要と考えるが、今後の取り組みは、**土木部長** 昨年設立された「(仮称)鹿行南部道路検討委員会※2」における道路構想の具体化に向けた調査・検討に県も協力していく。また、今後のコンテナ貨物の集荷状況などを踏まえ、ガントリークレーンを含めた港湾機能の拡充を検討していく。

(ほかに、医師確保の取組、神栖市における特別支援学校新設なども質疑)

**高橋直子委員 (自民)** 今年度は本県の魅力あるコンテンツを海外に売り込んでいくチャンスの年であると考え、訪日客のニーズを把握するなど、さらに一歩踏み込んだインバウンド誘客に向け、どう取り組んでいくのか。

**営業戦略部長** 稼げる地域観光支援事業において、訪日客のニーズを踏まえ、付加価値の高いコンテンツ造成に取り組むとともに、デジタルマーケティングやインフルエンサーの活用などにより、インバウンド需要を取り込む。(ほかに、エネルギーシフトの促進、有機農産物の付加価値向上と生産拡大なども質疑)

**二川英俊委員 (国民)** 安定的で安価なエネルギーの確保は喫緊の課題である。さらに、環境に配慮したカーボンニュートラルを実現するためには、再生可能エネルギーの促進が重要と考え、今後どう取り組んでいくのか。

**県民生活環境部長** 自家消費型太陽光発電などの導入を支援する「いばらきエネルギーシフト促進事業」や、適正導入を図るためのガイドラインの策定など、さまざまな施策に取り組んでおり、引き続き、地域と共生した再生可能エネルギーの導入を促進していく。(ほかに、県内企業の人手不足への対応、豪雨災害への対応なども質疑)

**水柿一俊委員 (自民)** 県立高校の統廃合について、協議段階から地域や学校関係者の意見を取り入れるほか、地元理解が得られるよう丁寧に説明していく必要があると考えるが、所見は、**教育長** 学校訪問や校長面談を通して、学校や地域の現状把握に努めている。統合などの対象となる学校や市町村教育委員会の協力を得つつ、PTAや同窓会、地元関係者などの意見を聞くとともに、理解が得られるよう丁寧な説明を行い、県立高校の再編に取り組む。(ほかに、支川の管理、茨城農業の将来ビジョンに基づく水田の基盤整備なども質疑)

## 令和5年度6月補正予算案が可決

原油価格・物価高騰の影響を受ける、事業者や生活者に対する支援、令和5年梅雨前線による大雨および台風第2号に伴う災害により被災した方々への支援のほか、県政の課題などへ対応するために、必要な予算を計上した令和5年度6月補正予算案(86億6300万円の増)が可決されました。

### 6月補正予算に計上された主な事業

- 1 原油価格・物価高騰対策 77億9900万円
  - 新 医療機関等物価高騰対策支援事業(光熱費などの高騰の影響を受ける病院などに対する補助)
  - 新 いばらきエネルギーシフト促進事業(再生可能エネルギーの導入のための設備整備を行う事業者に対する補助)
  - 新 稼げる地域観光支援事業(インバウンド向けコンテンツ造成や高付加価値化に対する支援)
  - 新 飼料国内自給化緊急対策事業(食品残さの飼料化や自給飼料の生産拡大のための取り組みに対する補助)
- 2 令和5年梅雨前線による大雨および台風第2号に伴う災害により被災した方々への支援 7億3900万円
  - 災害救助費(災害救助法に基づく避難所の設置や住宅の応急修理などの経費)
  - 中小企業融資資金貸付金等(被災した中小企業に対する災害対策融資枠の拡充や利子補給など)
  - 新 社会福祉施設災害復旧事業(被災した幼児教育・保育施設、高齢者施設、障害者施設の復旧に対する補助)
- 3 県政の課題などへの対応 1億2500万円
  - わくわく茨城生活実現事業(東京圏から本県への移住者の増加に伴う移住支援金の増)

## 県議会公式Twitterをぜひご覧ください

県議会では、県議会公式Twitterによる情報配信を行っています。Twitterでは、県議会をより身近に感じていただくため、本会議や委員会の開催情報など県議会の情報をタイムリーに発信しておりますので、いばらき県議会だよりと併せて、ぜひご覧ください。

こちらから県議会公式Twitterをご覧ください。  
<https://twitter.com/ibarakikengikai>



※1【教職調整額】…給特法に基づき、教育職員に対し給料月額4%を支給するもの。  
※2【(仮称)鹿行南部道路検討委員会】…鹿行南部地域周辺の状況を把握し、当該地域の発展を図るため、道路構想の具体化に向けた基本方針の検討を行うことを目的に、県、市および東日本高速道路株式会社で構成された検討委員会のこと。

# 委員会活動

## 総務企画委員会 (星田弘司委員長)

### 研究開発型ベンチャー企業の育成と英語を基礎とした教育現場を調査 (5/11)

(株)つくば研究支援センター (つくば市)

(株)つくば研究支援センター(TCI)は、筑波研究学園都市に立地するという特長を生かし、産・学・官の研究交流・連携のもとに、広く国内外に開かれ、同時に地域の活性化に役立つセンターとして運営されています。また、近年はつくば地区において、研究シーズの事業化を積極的に進めており、研究開発型ベンチャー企業の育成に力を入れています。

TCIの事業概要について説明を受け、施設を視察しました。



TCIの施設を見学する委員

つくばインターナショナルスクール (つくば市)

つくばインターナショナルスクール(TIS)は、英語を基礎とした教育を必要とする子どもたちのために、1992年に設立されました。2009年に県から認可を受け、(学)つくばグローバルアカデミーが運営しています。2011年に国際バカロレア(IB)\*プライマリイヤープログラムの認定校、その後、ミドルイヤープログラム、ディプロマプログラム認定校となり、幼小中高一貫のIB校となりました。

TISの概要説明を受け、授業の様子を視察しました。



TISの取り組みについて説明を受ける委員

## 防災環境産業委員会 (高橋勝則委員長)

### 消防指令業務の共同運用とサイクリスト向け宿泊施設を調査 (5/19)

いばらき消防指令センター (水戸市)

いばらき消防指令センターは、県内21消防本部(34市町)によるデジタル無線の共同整備、県内20消防本部(33市町)による消防指令業務の共同運用を行っています。

通報受付から現地への到着時間の短縮や、ドクターカー、ドクターヘリの円滑な運用をし、救命率の向上が図られています。

センターの概要などについて説明を受けた後、Live119(119番映像通報システム)の実演を含めた実際の運用を視察し、質疑を行いました。



Live119について説明を受ける委員

SAKURAGAWA URIBOUCYCLE STATION (桜川市)

SAKURAGAWA URIBOUCYCLE STATIONは、令和4年度茨城県サイクルステーション整備支援事業補助事業者に選定され、既存の宿泊施設にサイクリスト向けの宿泊棟を増設し、サイクリストにやさしい宿「見晴らしの丘 真壁うり坊」として整備されました。

県執行部からは事業者へ期待すること、事業者からは地域の特徴を生かした施設の概要や、目指すべき将来像について説明を受けた後、施設を視察しました。



宿泊部屋を視察する委員

## 保健福祉医療委員会 (磯崎達也委員長)

### 障害児専門の「成長&自立」支援と土浦児童相談所を調査 (5/18)

(株)NEXT STEP

児童発達支援・放課後等デイサービス「つなぐ」(つくば市)

児童発達支援・放課後等デイサービスつなぐは、小学生から高校生までの児童福祉法に基づく、児童発達支援、放課後等デイサービスの受給者証を取得した方が通うことのできる療育施設です。

充実した運動療育プログラムで「カラダを動かしてココロを整える」障害児専門の運動・学習支援について説明を受けました。

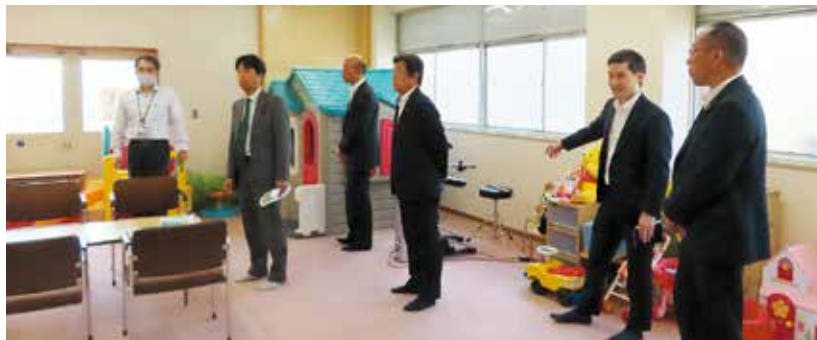


施設の取り組みなどについて説明を受ける委員

土浦児童相談所 (土浦市)

土浦児童相談所は、原則として18歳未満の子どもに関するさまざまな問題について、家庭その他からの相談などに対応しています。

職員から児童相談所業務の概要、管内の状況について説明を受けるとともに、施設の視察を行いました。



施設を視察する委員

※【国際バカロレア(IB)】…国際バカロレア機構が提供する国際的な教育プログラム。国際的にも通用する大学入学資格を与え、大学進学へのルートを確保することを目的として設置された。

# 開会中の

## 営業戦略農林水産委員会 (水柿一俊委員長)

### ICT活用養殖ビジネス実証施設と酪農経営の現状を調査 (5/17)

#### ICT活用養殖ビジネス実証施設 (ひたちなか市)

県では横浜冷凍(株)と連携し、ICTを活用した養殖のビジネス化実証事業に取り組んでおり、那珂湊漁港内の施設で令和4年11月からマサバの養殖を開始しました。

携帯アプリを使って遠隔で魚の様子を観察しながら、AI給餌機に最適な給餌量・間隔を学ばせる作業を行っており、将来的には人の手をほぼかけずに養殖できるようになります。

養殖事業の商業化に向けた取り組みについて説明を受けた後、実証施設の見学を行いました。



ICT活用養殖ビジネス実証施設を見学する委員

#### (有)PIONEER FARM (小美玉市)

(有)PIONEER FARMは、飼養頭数910頭の関東屈指のメガファームです。

飼養している牛の生産データを集め、分析することで乳量・乳質の向上に取り組むほか、省力化を図るためミルクパーラー<sup>※1</sup>や搾乳ロボット<sup>※2</sup>を導入しています。また、堆肥を利用した自給飼料の生産など、資源循環型経営にも取り組んでいます。

経営内容や飼料高騰の影響などについて説明を受けた後、搾乳ロボットなど施設見学を行いました。



経営内容について説明を受ける委員

## 土木企業立地推進委員会 (金子晃久委員長)

### 自動運転によるバス事業と道の駅常総を調査 (5/10)

#### (株)セネック (境町)

(株)セネックは、県の本社機能移転促進補助金を活用し境町に移転してきた、自動運転によるコミュニティバス事業やドローンによる物流事業の実用化を目指す企業です。

地方が少子高齢化や公共交通の維持などの課題に直面する中、自動運転バスの実用化に向けた実証実験を行うなど、新技術による社会的課題の解決に取り組んでいます。

同社の事業について説明を受けた後、自動運転バスの試乗を行いました。



自動運転バスを視察する委員

#### 道の駅常総 (常総市)

道の駅常総は、生産・加工・流通・販売が一体となった産業団地の形成によるまちづくりと地域活性化を目指すプロジェクト「アグリサイエンスバレー事業」の拠点施設として、地元農産物や加工品の販売、飲食をはじめ、多彩なコンテンツの提供を通じ、まちの魅力を発信しています。

圏央道常総ICに直結しており、市の新たな玄関口として期待されています。

道の駅常総の概要について説明を受けた後、施設内を視察しました。



施設の概要について説明を受ける委員

## 文教警察委員会 (長谷川重幸委員長)

### 学校におけるICTの効果的な活用と次世代を担うIT人材の育成を調査 (5/12)

#### 県立IT未来高等学校 (笠間市)

県立IT未来高等学校は、全国初のIT専科高校であり、IT技術を駆使した課題研究や体験活動などを通して、論理的思考・科学的な見方や考え方を体得した生徒の育成を目標に、さまざまな活動に取り組んでいます。

これらの取り組み内容について説明を受けるとともに、校内の視察を行いました。



授業を見学する委員

#### 県立つくばサイエンス高等学校 (つくば市)

県立つくばサイエンス高等学校は、県内初の科学技術科を設置した学校であり、科学技術に関する教科などの横断的な学びや課題研究などを通して、次世代の科学技術と社会を担う研究者や高度技術者などを目標とする生徒の育成を目標に、さまざまな活動に取り組んでいます。

これらの取り組み内容について説明を受けるとともに、校内の視察を行いました。



学校の取り組みについて説明を受ける委員

ことば ※1【ミルクパーラー】…同時に多くの牛から搾乳することが可能な搾乳専用施設のこと。  
※2【搾乳ロボット】…搾乳を自動で行うロボットのこと。

### 決算特別委員会を設置しました

令和4年度茨城県一般会計決算、同特別会計決算および同公営企業会計決算を審査するため、決算特別委員会を設置しました。今後、分科会による部門別審査を行い、審査の効率化を図るとともに、事務事業の見直し、改善の申し入れへの対応状況を翌年の第1回定例会の常任委員会で確認し、審査成果の見える化を図ります。選任した30名の委員は次のとおりです。

委員長	常井 洋治	委員	黒部 博英
副委員長	川口 政弥	委員	水柿 一俊
委員	葉梨 衛	委員	高橋 勝則
委員	飯塚 秋男	委員	磯崎 達也
委員	細谷 典幸	委員	金子 晃久
委員	伊沢 勝徳	委員	坂本 隆司
委員	西野 一	委員	小松崎 敏紀
委員	飯田 智男	委員	石塚 隼人
委員	下路 健次郎	委員	高橋 直子
委員	鈴木 将	委員	秋元 勇人
委員		委員	木本 信太郎
委員		委員	高崎 進
委員		委員	村本 修司
委員		委員	高安 博明
委員		委員	大足 光司
委員		委員	櫻井 信幸
委員		委員	設楽 詠美子
委員		委員	江尻 加那
委員		委員	長田 麻美
委員		委員	中村 はやと

### 県議会主催の講演会を開催しました

6月7日、県議会主催の講演会を県議会議事堂大会議室で開催しました。講師には、ゆこゆこホールディングス株式会社代表取締役社長の徳田和嘉子氏をお招きし、「オール茨城で共創する『世界の観光目的地化』プラン」と題し、お話をいただきました。

徳田氏からは、国内外からより多くの観光客を本県に呼び込むための具体的な提案として、「サステナブル」と言えば茨城」を目指すこと、旅行者が求めるコンテンツは「コト消費」であること、茨城空港をハブとした「アジア周遊旅行」を展開していくこと、SNSの活用による「旅アト」の満足度向上を図ることなどが語られました。今後の本県の観光施策につながる大変有意義な講演会となりました。



徳田和嘉子氏による講演の様子

### 茨城キリスト教大学との相互連携・協力に関する包括協定を締結しました

6月7日、県議会と茨城キリスト教大学は、相互連携・協力に関する包括協定を締結しました。

政府が次元の異なる少子化対策を講ずることを表明するなど、こども・子育ての政策に国を挙げて取り組むことが求められる中、幼稚園・小学校教諭や、看護師・保健師などの人材を数多く育成され、教育や医療福祉分野に強みを持つ茨城キリスト教大学との協定締結は、大変有意義なものです。今後は、連携事業を通じて、議会の「政策立案機能」を磨き上げていくとともに、将来の茨城を担う「人材の育成」などにつなげていきたいと考えています。



協定を締結した石井邦一議長(左から5人目)と上野尚美学長(右から6人目)

### 誰もが輝く持続可能な茨城を担う人づくり調査特別委員会を開催しました

5月22日、第1回委員会が開催され、調査方針および調査活動計画を決定したほか、国立社会保障・人口問題研究所人口動向研究部長の岩澤美帆氏より、「少子化問題の背景」について説明いただくとともに、意見交換を行いました。その後、県執行部から、「結婚・出産の希望がかなう社会づくり」について説明を受け、質疑が行われました。

6月21日には、第2回委員会が開催され、県執行部から、「安心して子どもを育てられる社会づくり」および「誰もが教育を受けられることができる社会づくり」について説明を受け、質疑が行われました。今後は、「誰もが輝く持続可能な茨城を担う人づくりに関する諸方策の在り方」について、引き続き精力的に調査検討を進めてまいります。



中央に伊沢勝徳委員長、その右隣に西野一副委員長、ほか13名の調査特別委員会委員

### 関東甲信越1都9県議会議長会を本県で開催しました

5月29日、水戸市内で関東甲信越1都9県議会議長会を開催しました。コロナ禍以来約4年ぶりに、各都県の正副議長などの出席による対面での開催となり、本県からは石井邦一議長と村上典男副議長、来賓として小野寺俊副知事が出席しました。

会議では、各都県による国への要望事項を議案とし、本県からは「太陽光発電設備設置などの大規模林地開発に係る森林法の改正」についての要望を提出しました。各都県から提出された議案は全て原案どおり可決され、7月に開催予定の全国都道府県議会議長会定例総会において、関東甲信越ブロックの議題として提出されるとともに、国会および政府関係機関へ要望することが決定されました。



会議の冒頭であいさつする石井邦一議長(前列右側は村上典男副議長、左側は小野寺俊副知事)

今回の、令和5年第3回定例会は、8月31日から9月26日までの27日間の会期日程で開催される予定です。

月日	曜	議事予定
8. 31	木	議会運営委員会 本会議(開会、知事提出議案説明)
9. 1	金	休会(議案調査)
2	土	
3	日	
4	月	休会(議案調査)
5	火	議会運営委員会 本会議(代表質問・質疑)
6	水	本会議(代表質問・質疑)
7	木	議会運営委員会、本会議(一般質問・質疑)
8	金	本会議(一般質問・質疑)
9	土	
10	日	
11	月	本会議(一般質問・質疑)
12	火	本会議(一般質問・質疑、議案常任委員会付託)
13	水	休会(委員会審査準備)
14	木	休会(常任委員会)
15	金	休会(常任委員会)
16	土	
17	日	
18	月	(敬老の日)
19	火	議会運営委員会 本会議(予算関係議案常任委員長報告、予算関係議案予算特別委員会再付託)
20	水	休会(誰もが輝く持続可能な茨城を担う人づくり調査特別委員会)
21	木	休会(予算特別委員会)
22	金	休会(決算特別委員会)
23	土	(秋分の日)
24	日	
25	月	休会(議事整理)
26	火	議会運営委員会、本会議(委員長報告、採決、閉会)